

平成 28 年度 事業計画

1. 米山梅吉記念館の設置・運営、資料の蒐集、展示

米山梅吉は、社会奉仕に人生の大半を捧げ「新隠居論」を提唱した。その趣旨は、社会で功成り、名をとげた者はその人脈や経験を生かし、社会奉仕、世の公益事業に尽くすべきであるというものである。この米山の思想を普及するべく、その基となる資料、著作その他のものを展示し、閲覧に供する。展示室は一般に無料公開とする。

- ① 米山梅吉に関する書籍、資料の蒐集。
- ② 蒐集した資料の整理、研究を進める。
- ③ 記念館周辺の観光案内などのパンフレットを作成し、来館者の誘致促進を図る。
来館者には、出来得る限り対応し案内をする。
- ④ 研修室は、一階ホールで一般に開放する。
- ⑤ 地元企業、近隣趣味サークル等への会議・交流の場としてホールの活用促進を図る。
- ⑥ ホームページやSNS、近隣市町の広報等を利用し、情報を発信する。

2. 米山梅吉の思想を普及するための講演会開催及び印刷物の刊行

米山梅吉の思想を普及するための講演会を開催する。また、それに伴う印刷物を発行する。

- ① 年に2回（春・秋）米山梅吉の思想、また、公益事業等その他その外縁に関する講演会を開催する。対象は一般とする。
- ② 春・秋の年2回、館報を発行し、全国のロータリークラブ及び関係者に配布。
- ③ 近隣自治体の広報や館報などを通じて、講演会や館報の周知を図る。

3. 米山文庫の設置、運営

- ① 記念館旧館を利用し、主に幼児から中学生までを対象とした図書閲覧室を設置。
書籍の貸し出しを行う。
- ② 長泉町立図書館と連携し、蔵書の入替、増冊を行う。
- ③ 定期的に読み聞かせの会・講演会を開催する。対象は一般とする。
- ④ 文庫活用促進を図るため、ポスターやチラシを作成し、近隣自治体や幼稚園・学校等に広報する。

4. 記念館創立 50 周年記念事業の準備

2019年9月に迎える記念館創立50周年を記念した各事業の準備を行う。